



ものづくり広報

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、当市の産業政策にご尽力を賜り誠にありがとうございました。

さて、新年を迎え、われわれはこの一年を、午年にちなんで元気に駆け抜ける二つの方針に沿って進められればと考えております。

1. 会社の方針に沿って、日々の操業を計画通りに進められているのか。また、自社経営が目標を持ったチームワークのある経営なのかを常に問い、違う視点で己を見直す時間を作ることが重要であります。
2. 企業のシーズを見つけ、それをブラッシュアップしていくこと。普段、何気なく行っている製造工程にはさまざまな作業があり、この何気ない作業に隠れる自社の「特徴」を見つけ、それを自社の「強み」＝「シーズ」に転換しようとする試みです。

この二点は自己を成長させ、自社を変革するうえで必須であると思います。

ものづくり業界の交流を深め、鈴鹿の元気に寄与していくことを今年の目標とし、年始にあたってのご挨拶とさせていただきます。



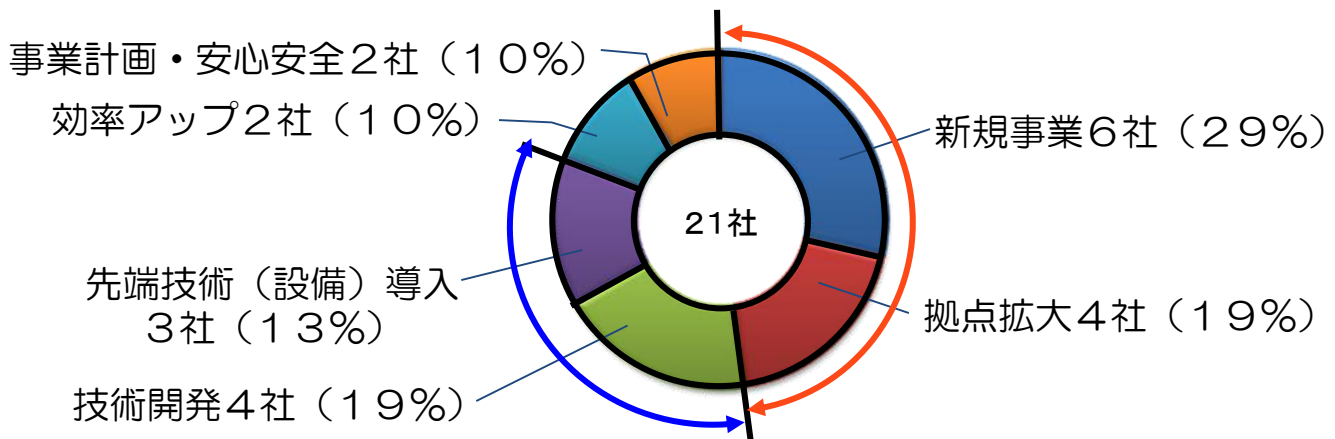
鈴鹿市ものづくり産業支援センター

『夢の実現は、小さなイノベーションから』

市内の企業は厳しい現状を乗り越えるため、どのような戦略をたてているのでしょうか？

市内中小企業21社の社長に直接聞いてみました。アベノミクス以前より危機感を持ち、ある企業は手探りで、ある企業は大胆に新しいことにチャレンジしていることが分かりました。

1. 何にチャレンジしていますか？



新しい事業開拓10社（48%）、技術力獲得7社（32%）、現場力強化4社（20%） 企業の強み・持ち味を生かして果敢に取り組んでいる姿が分かります。

2. 実現のために取り組んだことは？

- 1 事業開拓では・・・関連会社との共創・販路開拓・情報の収集と選択
- 2 技術力では・・・プロセスの大胆見直し・積極投資・技術者の育成

先行投資、先端技術の導入、自社技術の開発など独自の嗅覚と先見性で自社の武器に仕立てる柔軟性が成功のキーワードと見てとれます。

3. どんな効果がありましたか？

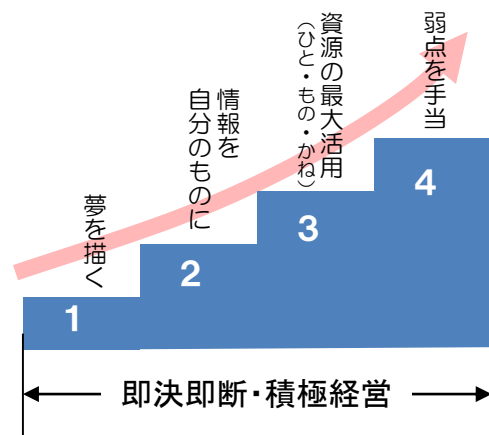
コスト削減や短納期化の成功、新規顧客の獲得、売上の拡大、第2の柱の確立など、収益基盤の強化が図られています。

また、従業員が展開プロセスの成功を体験したことで、仕事のやりがい・満足感などやる気が出て、職場が明るくなりました。

取材のまとめ

21社はいずれも、自社が持っている強み、コア技術に小さなイノベーションを持ち込むことで、今までの暗い景色をガラリと変えることに成功しています。

経営者は『成長が止まれば追い越される』と言い、生き残るためには自分の力を信じ考え続ける体力・知力が必要と言い切りました。



大人の雑学

ご存知ですか？

1・ゆでガエル

熱い湯にカエルを入れると驚いて飛び出しますが、ゆっくり温めていくとカエルがその環境に慣れ、最後はゆであがってしまうという意味。仕事でも急激な環境変化があればいろいろ対策を考えますが、ジワジワ起きる環境変化に気がつかないでいると、最悪の事態になることも……。そうならないためにも現状には満足せず、常に身の回りの環境変化に気配りしましょう。

2・川流れ

1) 馬糞の川流れ

欄干の上から馬の糞を川に投げ入れると、川面に着くころにはバラバラになっている。要はまとまり(チームワーク)がない状態をさすときに使う。

2) 河童の川流れ

油断大敵と同意語。自分の得意なことでも水に呑み込まれ溺れることがある。上には上があることの戒めの言葉。

社長紹介

株式会社辻プロテック工業 代表取締役 辻 昌実



精密板金事業

住所 鈴鹿市東庄内町3905

TEL 059-371-3133

FAX 059-371-3122

Eメール t-pro@tsujipro.jp

のどかな田園風景の中に、2,700㎡の大きな工場が目飛び込んでくる。事業は鉄・アルミ・ステンレスなど、精密板金加工を得意とする。また、ISO9001、M-EMSを取得するなど、品質・環境マネジメントにも力を入れている。

起業した動機は、結婚したときの小遣いがあまりにも少ないことが引き金になった？ 高度経済成長期の6年間他社で苦労した経験が後の事業を軌道に乗せる武器になったと懐かしそうに話す。

今では従業員30人を抱える中堅企業に。「経営の柱は工夫と知恵と何事も諦めない」をモットーに技術を磨いてきた。

他社が手をつけ難いことを形にする。約束したことは何かが何でも守る。これが信用の第一歩。この積み重ねだと語る。

当面の課題は、安定した仕事量を確保するためにも、短納期・高品質を充実させ多品種少量生産と試作生産の2つを両立させる体質作りだという。

50歳、脂が乗り切った社長の頭の中には、その戦略がすでにでき上がっているようだ。

◆新企画 マネジメント研修のご案内

新年度からスタートのマネジメント研修は、市内7社のご協力を得て、企業のリクエストに基づいてオリジナルのカリキュラムを作成しました。

講義内容は 1・鈴鹿市の産業動向 2・厳しい環境を乗り切るヒント 3・経営TOPの期待 4・管理職のあるべき姿 5・日常管理について 6・方針管理について 7・マネジメント能力を理解する

このカリキュラムに基づき昨年11月に研修を試行しました。自らのテーマを持ち込み、管理職としての立場を再認識、活発なグループ討議を軸に「管理職の立場を再認識できた」「他社の方と意見交換ができ同じ問題を抱えていることが分かった」など、ブラッシュアップする内容となりました。



マネジメント研修試行の様子

研修生からは

「役立つ内容なので来年度以降も会社に参加するよう勧めたい」

さらに良くするために

「研修生間のやり取りをもっと多くとり入れては」「参加しやすい日程や時間の考慮を」などの建設的な提案がありました。こうした意見をもとに改善点を抽出し、一層中小企業の皆さんのニーズに沿った内容となるよう、充実化に向けての作業を進めています。

新年度から本格スタートするマネジメント研修にぜひご参加ください。

◆鈴鹿市ものづくり企業交流会開催のご案内

鈴鹿市では、ものづくりにかかわる方たちの「交流の重要性」をテーマに、自社技術の再発見や新たな可能性の発掘など、中小企業の企業力強化につながる「ものづくり企業交流会」を開催します。

日 時：平成26年2月16日（日）10時～17時30分

場 所：鈴鹿市民会館1階ロビー・2階展示室



昨年の企業祭の様子

※イベントの企画・段取り・運営までを代表幹事企業の皆さんにご協力いただき実行します。

※企業が主役です。子どもから大人まで楽しめる交流会です。

乞うご期待！ ぜひご参加ください。

イベント内容

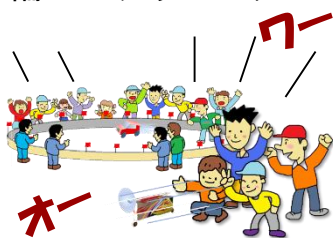
○ 企業展示



- **市内企業の底力再発見** 企業の『強み』『魅力』を発信・・・
自慢の製品 アイデア製品 チャレンジ品 地域密着活動など
- **新鮮で役に立つ情報** 企業伝言板
求める技術 人材 取引先 活用できる技術 設備機器など

○ すずか

輪ゴムグランプリ



- **企業技術者や子どもたちの発想力や創造力を披露する競技大会**
(車の動力として輪ゴムを使用)

自作車で3つのコースを走破します

- 競技種目
- 1・オーバルコース
 - 2・ドラッグコース
 - 3・トラックターコース

○ 講演会

聴いて役立つ講演会(定員130人)

- **ユニーク・アイデア経営者の生の声を聴く**
・チャレンジ魂、夢を実現させる原動力は何か？
- **現場を支える女性の力**
・ものづくりの現場における男女共同参画の事例
に焦点を当てた講演会
- **特別講演**
・医療福祉器具開発の状況と中小企業の参入の可能性を紹介
(講師：名古屋市立大学教授 國本桂史氏)

